



美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校
すすんで学び行動しよう
ぎぶあっぴしない

第 17 号
令和5年 12月 5日発行
美杉中学校長

12/3 美杉人権を考える集い

12月3日(日)午後、『美杉人権を考えるつどい』が美杉総合文化センターで開催されました。美杉中からは、木村さんの「男女差別を無くす取り組みについて」の作文発表。「男だから。女だから。」という世の中の常識を無くしていきたいと訴えてくれました。また、梅ヶ広教育集会所学習会のメンバーが夏休みのフィールドワークでの学びを劇にして発表しました。未だ残る「部落差別」をなくすために、今、自分たちにできることは身の回りにある差別や偏見をなくしていくこと。正しい理解が、差別のない住みやすい社会を創っていくことへの第一歩になることを伝えてくれました。



その後、「三重いのちの電話協会」スーパーバイザーの栗本真弓さんによる「人との出会いから見えてきたもの」と題しての講演をいただきました。



交通安全弁論大会

11月17日(金)に「津市中学生交通安全弁論大会」がリージョンプラザで行われました。津市内中学校の代表が、交通安全について、自分の体験や日頃考えていることを発表する場として、30年以続いている行事です。美杉中からは2年生の向田さんが出場し、自分が自転車に乗っていて体験したことから、ヘルメット着用の重要性、交通ルール、マナーを守ることの大切さを堂々と発表してくれました。



《2 学期も終わりが近づいてきました》



テストも終わり、ほっとしているところかもしれませんが、ここで気を抜いてはいけません。何事も、やる前の準備はもちろん大切ですが、さらなる成長を目指すためには、終わった後の振り返りがより重要となってきます。「勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし。」というように、うまくいくときには「たまたま」とか「まぐれ」ということがあります。うまくいかなかったときには、「必ず原因がある。」ということです。この2学期も、みなさんは数々の『挑戦』をしてきたと思いますが、この『挑戦』を次につなげるためにも、ぜひ、しっかりとした振り返りをしておいてください。

《ちょっと考えてみよう》

人は、口から様々な言葉を吐きます。それは、いいこと(プラス +)も、悪いこと(マイナス -)も。漢字を見てください。「吐」は口に、プラス(+)と、マイナス(-)と書きますよね。でも、ひとの悪口などはもちろん、「自分なんて」とか「もう無理だし・・・」など、自分にとっても悪いこと(マイナス -)を言わなくなって、いいこと(プラス +)だけ言うように心がけると、夢や希望が「叶」うようになりますよ。